

## 地方自治体改革と政策研修

【合同研修】

管理者の役割 ～ 政策自治体の実現、コンプライアンスの確立、「仕事の根拠」の明確化、説明責任～

目的	分権改革が進展する中、政策自治体の実現を目指し、地方行政をめぐる状況を理解するとともに、政策法務を基礎とした政策形成能力の向上を図る。			
内容	以下の項目について、事例研究をまじえ理解を深める。 (1) 「政策自治体」の実現、「政策法務」の確立 (2) 地方行政と「コンプライアンス」の確立 (3) 地方行政をめぐる法律関係と国・住民の地位			
実施年月日	令和4年 7月14日(木)	定員	42名(市町村職員12名 県職員30名)	
対象者	(市町村) 課長補佐等以上の職員 (県) 課長補佐級キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和4年 5月31日(火)	《第6回》	経費内訳	P138参照
指定ホテル	—		その他留意事項	—
研修講師 (プロフィール)	<p>【大分大学 理事 石川 公一(いしかわ こういち) 氏】</p> <p>1942年 大分県生まれ 1965年 大分大学経済学部卒業 1968年 一橋大学大学院法学研究科修士課程修了 1968年 大分県採用 1998年 別府市助役 2000年 監査事務局長 2001年 大分県教育長 2003年 大分県副知事 2007年 立命館アジア太平洋大学教授、大分大学経済学部非常勤講師等 2010年 大分大学 監事(立命館アジア太平洋大学客員教授) 2014年 大分大学 理事(立命館アジア太平洋大学客員教授)</p> <p>&lt;著書&gt;: 『実践 政策法務』、『図解 自治体職員必携』、『図解 自治体職員のためのトラブル解決事例集』 『自治体職員と説明責任』</p>			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス、説明責任についてはこれまでも研修等で学んできたが経験に基づく熱意ある話だったので改めてその視点の大切さに気付いた。</li> <li>・具体的事例、関係判例、新聞記事等の事例資料もたくさんあり分かりやすかった。</li> <li>・コンプライアンスの前に法令遵守が大事であり、自身に職場にもフィードバックできる内容ばかりだった。</li> <li>・過去の文書にもよく目を配り、俯瞰的視点を持つためにも有意義な講義だった。</li> <li>・経験に基づいた話だったので、説得力があった。わかりやすく熱い講義だった。</li> </ul>			
備考				

## 時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	50	20	30					30	
1日目	受付	オリエンテーション	管理者の役割 ～政策自治体の実現、コンプライアンスの確立、「仕事の根拠」の明確化、説明責任～	昼食	管理者の役割 ～政策自治体の実現、コンプライアンスの確立、「仕事の根拠」の明確化、説明責任～			アンケート・閉講	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。